



# 図書館だより



こんにちは。大船渡市立図書館です。

夏休みは、これまで読めなかった本とじっくり向き合える絶好のチャンス。

日頃の悩みやストレスから離れて、涼しい場所で新しいページを開いてみませんか？

心に響く物語の世界に浸れば、忙しい毎日を忘れて、リラックスすることができるかもしれません。

図書館には、中学生・高校生の皆さんに、おすすめの本を集めた「YA（ヤングアダルト）コーナー」があります。部活動に役立ちそうな本、将来の夢に近づく本、いまの社会を知る本など、様々なジャンルの本を用意していますので、ぜひ手に取ってみてください。

## 図書館の利用案内

### 【開館時間】

平日：午前9時～午後7時

土日祝日：午前9時～午後5時

### 【借りられる数】

本・雑誌：ひとり10点まで

DVD：ひとり2点まで

### 【館内での飲食について】

フタ付きの飲み物（ペットボトル・水筒など）は可。食事は談話室をご利用ください。

## 夏の図書館カレンダー

| Sun  | Mon | Tue      | Wed | Thu | Fri | Sat |
|------|-----|----------|-----|-----|-----|-----|
| 7/20 | 21  | 22<br>休館 | 23  | 24  | 25  | 26  |
| 27   | 28  | 29<br>休館 | 30  | 31  | 8/1 | 2   |
| 3    | 4   | 5<br>休館  | 6   | 7   | 8   | 9   |
| 10   | 11  | 12<br>休館 | 13  | 14  | 15  | 16  |
| 17   | 18  | 19<br>休館 | 20  | 21  | 22  | 23  |
| 24   | 25  | 26<br>休館 | 27  | 28  | 29  | 30  |
| 31   |     |          |     |     |     |     |

※お盆も開館しています！



イベントの  
ご案内

リアスウェーブフェスティバル 2025

## 図書館サイエンスショー

スモークマシンを使ったダイナミックな空気砲の実験や、紙コップで犬の鳴き声を作り出す「ワンコップ」の工作を行います。

身近なものから、「なぜ？」と驚く現象が生まれる瞬間を見ることができますよ。ぜひ、ご参加ください。

日時：8/31（日）午前10時30分～12時（10時10分開場）

場所：リアスホール1階 マルチスペース

参加無料

定員：40名 ※定員になり次第締め切ります。

申込方法：図書館窓口、電話

申込期間：7/26（土）～8/30（土）



# 夏

## を感じる、 おすすめ本をご紹介します。



### 世界中で読まれている名作 『夏の庭』

湯本 香樹実 // 著 新潮社

小学6年生の元気な男の子3人組が、近所に住むおじいさんと過ごすひと夏を描いた物語。少年たちが初めて目にする「人の死」。彼らは、見知らぬおじいさんから一体何を見聞きし、何を想ったのか。



### 夏の夜にじっくり読みたい 『夜のピクニック』

恩田 陸 // 著 新潮社

高校生活の最後を飾るイベント「歩行祭」は全校生徒が夜を徹して80キロを歩き通す伝統行事。貴子は密かな誓いを胸に抱いて、歩行祭にのぞんだ。三年間、誰にも言えなかった秘密を清算するために――。高校生たちの秘めた思いを描く、青春小説。



“言いあわせなかった気持ち、  
がきっと見つかる

### 『答えは風のなか』

重松 清 // 著 朝日出版社

はじめて感じる胸のモヤモヤ。この気持ちは何だろう……？ 家族、友だち、社会のこと。胸がぎゅっと苦しくなったとき、頭でも心でも、わからなくても、きみといっしょに考えよう。この世界を、一緒に歩いていくために。



自然の中で過ごす  
特別な夏休み

### 『夏美のホタル』

森沢 明夫 // 著 角川書店

写真家志望の大学生・慎吾は、卒業制作間近に、彼女と出かけた山里で、古びたよろず屋を見付ける。そこでひっそりと暮らす母子に温かく迎え入れられ、夏休みの間、彼らと共に過ごすことに。心のふるさとの物語。



父から子へ受け継がれる絆

### 『夏を拾いに』

森 浩美 // 著 双葉社

「お父さんが小学生のとき……」父が息子に語る、昭和46年の夏の出来事。小五の文弘は、祖父から町に不発弾が埋まっている話を聞く。様々な家庭の事情を抱えた仲間四人と不発弾探しを始めたが――。懐かしく、どこまでも爽やかな物語。



現実と幻想が入り乱れる

### 『宵山万華鏡』

森見 登美彦 // 著 集英社

祇園祭宵山の京都。熱気あふれる祭りの夜には現実と妖しの世界が入り乱れ、気をつけないと「大切な人」を失ってしまう。幼い姉妹、ヘタレ大学生、怪しげな骨董屋。様々な事情と思惑を抱え、人々は宵山へと迷い込んでいくが……。



今年も「岩手読書感想文コンクール」と「青少年読書感想文全国コンクール」の課題図書を展示します。(展示期間：7/26(土)～8/31(日))